

ジャパンゴルフツアー選手会 復興支援福祉車両贈呈式

ジャパンゴルフツアー選手会では、2012年度より、震災復興支援として、選手たちが獲得した賞金の中から1%（およそ3,000万円）をチャリティ金として寄贈しています。2015年度は、チャリティ金を原資に自動車を購入し、岩手・宮城・福島各県の社会福祉協議会を通じて、それぞれ10の市町村社会福祉協議会に寄贈することになりました。

9月8日、ジャパンゴルフツアー選手会の宮里優作副会長らが、ふれあいランド岩手に来館しました。同日の福祉車両贈呈式では、宮里選手会副会長から、県内10市町の社会福祉協議会長等に自動車と目録が贈呈されました。自動車は各社協で福祉車両として活用されます。



一般社団法人生命保険協会・ 岩手県協会 福祉巡回車両等贈呈式

10月21日に一般社団法人生命保険協会・岩手県協会（吉原伸和会長）より、福祉巡回車両と車いすの寄贈、障がい者支援団体助成金の寄付をいただきました。同協会からは、平成3年から毎年、福祉巡回車両や車いすを寄贈いただき、今回で25回目と



なります。

ふれあいランド岩手で行われた贈呈式では、吉原会長から各々の施設・団体に目録が贈られました。

寄贈いただいた福祉巡回車両は岩手県社会福祉協議会を通じ、多機能型事業所けやき学園（紫波町社会福祉協議会）に、車いす8台は県内の高齢者福祉施設8か所に寄贈され、障がい者支援団体助成金は県内の3団体に寄付されました。

岩手県里親大会を開催

岩手県里親大会（岩手県、岩手県里親会共催）が10月4日にふれあいランド岩手で開催されました。

式典では岩手県知事感謝状が3組の里親に贈呈され、岩手県里親会会長表彰を6組の里親が受賞しました。

式典後は「子どものミカタ」と題して、人間と性教育研究協議会・全国児童養護施設サークル代表 大野紀代氏が講演したほか、中央支部と宮古支部の会員が体験発表を行いました。



被災地仮設住宅運動会

サンホームみやこ主催（宮古市・若竹会） いどばたさろん合同運動会

宮古市の居宅介護支援事業所「サンホームみやこ」（社会福祉法人若竹会が運営）は、震災後、継続的に仮設住宅の住民と交流を続け、絆を深めています。

同事業所主催の「いどばたさろん合同運動会」は、10月16日に宮古市勤労者青少年ホーム体育館で開かれ、鍛ヶ崎小学校、愛宕小学校校庭などに設置された仮設住宅等から30人のみなさんが参加。職員ら15人がサポートしました。

運動会は紅組、白組に分かれて「パン食い競争」「輪投げ」「玉送り」「車いすレース」などのほか、職員対抗の競技も行われ、応援合戦も華やか。参加者の川上ヤス子さんは「仮設住宅のみなさんと一緒に運動会は、

顔見知りと話したり、体を動かしたりとストレス発散に最適です」と笑顔。

サンホームみやこの佐々木恵子所長は「地域に密着した事業所として、震災前から市民の方々に支えられてきました。震災以降は自分たちができることをしたいと、週1回、介護職員やケアマネらが各仮設住宅集会所を訪問し、交流を続けています。つながりを大事にしていきたい」と話しています。

運動会のしめくくりには、参加者・スタッフ全員で民謡「灰鉦節」を輪になって踊り、どの顔も輝いていました。



寄贈

岩手銀行労働組合

使用済切手とプリペイドカード寄贈

岩手銀行労働組合（井上桂吾執行委員長）は、7月28日（火）に岩手県社会福祉協議会に使用済切手とプリペイドカードを寄贈しました。

盛岡市のふれあいランド岩手を、井上執行委員長と佐々木書記長が訪れ、切手3,590グラム分とプリペイドカード233枚が贈られました。



切手とカードは、県内の工業高校の生徒らが、中古の車いすを修理し海外に送る事業の車いす輸送費として活用されます。

岩手銀行労働組合は、2003年度から高校生の活動を支援しており、使用済切手の寄贈は今回で13回目となります。今年度は12台の車いすが修理され、タイに送られました。

東北財務局盛岡財務事務所

出前講座はいかがですか

東北財務局盛岡財務事務所では、財政・経済・金融・国有財産などのテーマで、職場、法人、学校、町内会、婦人会などに講師を派遣し、皆さんに役立つ情報をお届けしています。

テーマの一例

- 考えてみよう日本の財政（日本の財政状況や課題、本年度予算のポイント）
 - 社会保障と税の一体改革
 - 最近の経済情勢（東北や県内の経済の動き）
 - 基礎から学べる金融ガイド～身につけよう金融知識（これから社会に出る方のための金融の基礎）
 - 私たちの街の身近な国有財産（見近な国有財産の現状と有効活用に向けた取り組み）など
- 講師派遣のご希望など、お気軽にご相談ください。講演料、交通費等の費用は不要です。

■ お問い合わせ先

東北財務局盛岡財務事務所
総務課 ☎019-625-3351
盛岡市内丸7-25 盛岡合同庁舎内

寄付

皆様のご支援

ありがとうございました

東日本大震災で被災地などのため、多くの企業・団体・個人の方からご支援をいただき、深く感謝申し上げます。（順不同・敬称略）

| | |
|----------------------|----------|
| 名郷根 法育 | 1,000円 |
| 名郷根 和博 | 1,000円 |
| 名郷根 博明 | 1,000円 |
| 株式会社 ブリッジ | 53,310円 |
| 株式会社 ブリッジ | 54,593円 |
| 社会福祉法人 ウイズ福祉会 | |
| 就労支援施設おじゃったモールさつま川内館 | 64,077円 |
| 新潟県社会就労センター | |
| 連絡協議会 | 150,000円 |



料理を通じた社会貢献活動

日本エスコフイエ協会 ホテルでフランス料理を楽しむ 社会福祉食事も

フランス料理の料理長が中心となって結成されている日本エスコフイエ協会主催の「第28回ホテルでフランス料理を楽しむ社会福祉食事も」が、7月27日（月）、ホテルメトロポリタン盛岡ニューウイングで開催されました。

同協会は、現代フランス料理の門下生がフランスで結成した会にちなみ、日本で現代フランス料理の料理長25人により、1971年に結成された組織です。2002年には、内閣府から特定非営利活動法人日本エスコフイエ協会の認証を受け、幅広い活動を行っています。



社会福祉食事は、心身が不自由な方と介護にあたっての方をお招きし、協会のメンバーが心をこめてつくるフランス料理を、ホテルでゆっくり楽しんでいただくという趣旨で、2001年に第1回が開催されました。それ以来、年1〜3回のペースで全国各地で実施されており、今回は28回目（岩手県では初めて）の開催となります。

当日は、県内8か所の福祉施設から50人が参加。料理長らがマナーや味わい方などを説明し、参加者は、三陸産ホタテのカルパッチョ風サラダ、普代産昆布で風味づけした県産ヒラメなどを味わいました。参加者からは「とてもおいしい」「参加できてうれしい」などの感想が寄せられました。

日本エスコフイエ協会は、人とひとが支え合う社会の実現を目指し、今後も料理を通じた社会貢献活動を実施する予定です。